



議員派遣
委員派遣
調査研修等報告書

收受年月日	議 長	事務局長	書 記	平成 28 年 8 月 1 1 日
28.8.11				
第 号				

大縄 武夫 議会議員

提出者 吉田 広明

派遣目的 (調査等 名称)	埴町議会議員研修		
派遣の 日時	平成 28 年 8 月 5 日 午前 9 : 30 ~ 12 : 00	派遣先 (場所)	埴農村勤労福祉会館
内容	議会における行政評価の活用方法 講師 行政経営支援協会 代表理事 坂口 正治 氏 演習 : 「健康づくりの推進」		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>平成 12 年度の地方分権に依って、地方公共団体に権限が見直され、「自分達の幸せは、自己決定・自己責任にて何の目的で税金を使うのか」を自治体運営方針や施策決定の審議や監視が議会に委ねられている。議会は町政の問題を町に代わって議論し、決定する機関であり、一層の役割を発揮する為に、「行政評価」を活用するとの説明であった。</p> <p>長野県飯田市議会を紹介され、議長から市長に対し 56 事業についての評価結果を伝えて、「執行機関の活動を監視、評価し市議会の責務を果たしてまいります。」と活動事例を説明されたが、埴町議会として、どこまでできるのか、考えたいと思います。</p> <p>行政評価の基本的な視点で、「目的・目標、活動実績、現状把握、成果の上がない問題点と原因、問題解決対策を実践する。」と言われ、民間事業の考え方に近い説明であった。埴町長期総合計画も基本計画 5 年間（前期）が終了し、平成 28 年度から 5 年間（後期）が始まるが、宮田町長の新たな実施計画も出てくると思われるので、議員としての判断を間違えないように行政評価を含め取り組みたい。</p> <p>健康福祉課より「健康づくりの推進」説明を受けたが、埴町の検診結果のは、「メタボ予備軍が多く、がん検診で、がんでない人までも、がんであるかも知れないとピックアップされるので、検診精度を高めたい。」とあり、町執行部の行政評価結果も次に繋げていただきたい。</p>		